



基本項目記入数 25

チャレンジ項目記入数 13

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・社内で発生するゴミ、缶、ペットボトルなどは必ず分別し、適切に処理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・2025年6月より簡易シート等を用いてエネルギー使用量を把握している。 ・事務所内をすべてLEDに入替済みである。 ・使用していないモニター、不要な電灯をこまめに消す等、省エネに取り組んでいる。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・2025年6月より簡易シート等を用いて自社のCO2排出量を把握している。 ・事務所内をすべてLEDに入替済みである。 ・使用していないモニター、不要な電灯をこまめに消す等、省エネに取り組んでいる。			2.4						7.2 7.3 7.a			12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・梱包資材等の再利用をしている。 ・営業車両のエコドライブを通じて、生物多様性保全に配慮している。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・給与明細のペーパーレス化を実施している。 ・使用済みのトナーやドラム、カートリッジは回収し、リサイクルのために購入業者に返却している。											9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・水道の出しっぱなし、閉め忘れ等の細かなところからの節水に取り組んでいる。 ・弊社の商品に必要なに応じ漏水検知機能をつけている。			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5		14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生用紙利用を推進している。											9.4		12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●					1	2			6.4							12.3	14	15			17	
	30	【緑の安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●															11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		・地熱発電所・小水力発電所監視システムの開発・販売促進をしている。 ・電力監視システムの販売促進をしている。(エネルギー使用率の改善を提案)								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・事業者の取組みとしてマイコップを従業員に持参推進することによりプラスチックごみの削減に繋がっている。														12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・事業所間や必要な外出の際は、可能な限り社用車の乗り合わせを行っている。												9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8	13					17.2

